

**コンゴ（民）経済情勢**  
**月例報告**  
**2018年10月**

**主な出来事**

●3日、チバラ首相は国民議会に2019年度予算案を提出した。本予算案の総額は10兆3523億コンゴ・フラン（約60億ドル）である。

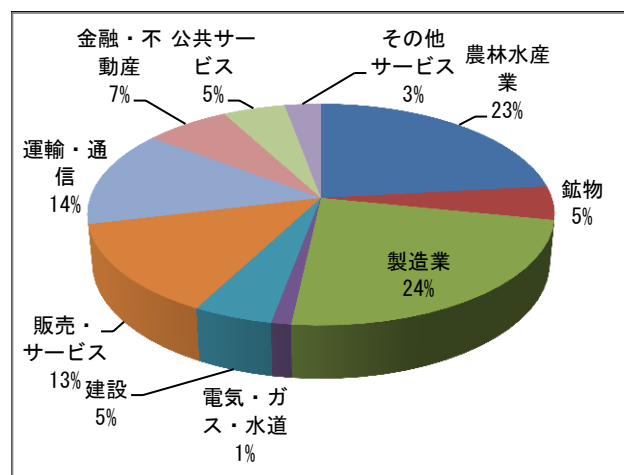
●16日、コンゴ（民）政府は中国企業及びスペイン企業と大インガ水力発電所計画（総発電量11万メガワット。総工費140億ドル）の融資に向けた包括的実施の協力に合意した。

●25日、アフリカ開発銀行（AfDB）はコンゴ（民）政府に対し、国内3空港の改修、航空規制当局の能力強化、コンゴ（民）の「アフリカ航空輸送単一市場（MUTAA）」への加盟のため、121.4百万ドルを支援することを明らかにした。

	主なマクロ経済指標	2017年	2018年9月
1	人口（百万人）	84.130 (2016)	-
2	失業率（%）	NA	-
3	実質GDP（10億コンゴ・フラン）（ドル額未発表）	11,356.49	-
4	名目GDP（10億ドル）	40.415	-
5	一人当たりGDP（ドル）（推定値）	415.20	-
6	GDP成長率（%）	3.5	-
7	インフレ率（%）	53.46	0.207%（9月）
8	貿易収支（百万ドル）	415.19	-
9	輸出（百万ドル）	12,730.28	-
10	輸入（百万ドル）	11,356.49	-
11	対外直接投資（百万ドル）	233.27	-
12	対内直接投資（百万ドル）	1,557.15	-
13	外貨準備高（百万ドル）	863.7	1,000（9月） （4.3週間）
14	対外債務残高（百万ドル）	3,880.64	-
15	為替レート（対ドル）	1,465.91	1,632.23 （10月）
16	主要政策金利（現行、年利%）	20.00	14.00

（2017年データ出典：コンゴ（民）中央銀行、IMF および世銀）

GDP セクター別構成比（2015年）



（出典：OECD African Economic Outlook 2015）

## 経済

### 1 市場（鉱物・資源関係）

#### (1) 国有企業 Sokimo 社が外資系鉱山企業の株式譲渡に抗議

9月28日、イツリ州で活動する国有企業 Sokimo 社は、カナダ系鉱山企業 Barrick Gold 社及び英系鉱山企業 Randgold 社間で合意された株式譲渡が、同社への事前認可を得ていないと抗議した。9月24日、Barrick Gold 社は RandGold 社の全株式を購入し（譲渡額は183億ドル）、Randgold 社を吸収合併する契約締結の発表を行っていた。Randgold 社は、南ア系鉱山企業 AngloGold Ashanti 社及び Sokimo 社との合併事業で Kibali 鉱山開発（イツリ州）を行っており、同鉱山の資本構成比は、オペレーターの Randgold 社が45%、AngloGold Ashanti 社が45%、Sokimo 社が10%となっている。（2日付 JeuneAfrique 等）

### 2 公共事業等（エネルギー・交通・インフラ・金融・製造等）

#### (1) 中国企業による高速道路建設事業への入札

インフラ・公共事業・再建省の下部機関である大規模事業公社（ACGT）は、ンジリ空港からキンシャサ市街地間の高速道路建設に係る入札審査で、中国企業3社に絞ったことを明らかにした。同3社は、評価順に Synohydro Cooperation Co.Ltd（評価率93.73%）、中国江西国際経済技術合作公司（China Jiangxi Corporation for International Economic and Technical Cooperation Co.Ltd）（同77.3%）及び中国交通建設（China Communication Company Ltd）（同75%）である。

ACGT は、同区間の高速道路及び料金所建設計画実施に係る融資、建設、管理、維持の能力に鑑み、今後3社の中から施工業者を選ぶ予定である。ACGT は、BOT方式での官民パートナーシップ（PPP）の枠組みで実施したいと考えている。本件の落札企業は、資金調達から事業実施までを3年以内で行い、政府への所有権譲渡まで25年間に亘り同事業の運営を行う。（9月28日付 Business-et-finance.com）

#### (2) インガ第2水力発電所の発電量強化

9日、インガ第2水力発電所のントゥンバ所長は、電力供給強化のため改修計画中のタービン8基の内、7基が今年10月末までに稼働予定であることを明らかにした。残りの1基は2018年12月から2019年1月に稼働予定である。これらの稼働に関し、同所長は世銀の支援を受けた21号機及び22号機の稼働によるものであるとし、また27号機及び28号機は鉱山企業 Kamoto Copper Company (KCC) 社の支援を受けていることを明らかにしている。また同発電所の操作・制御に電子システムが導入される予定で、今後、稼働の管理は同システムによるコンピュータ制御で行われる。同発電所は1982年に建設され、8基のタービンを有している（設備容量1424メガワット）。（10日付 ACP 紙）

#### (3) コンゴ・エアウェイズがエチオピア航空と4機のリース契約に合意

コンゴ（民）政府の支援を得て、コンゴ・エアウェイズは、エチオピア航空と 4 機（ボーイング 737-800 を 2 機、ボンバルディア DHC-8-Q400 を 2 機）を同社からリースする旨の 2 契約に合意した。同措置は、選挙期間前後の就航便の強化を目的としている。対象となる就航地は、キンシャサ、ンブジマイ、カナンガ、ムバンダカ、ゲエメナ、キンドゥ、キサングニ、イシロ、ブニア、ゴマ、ブカブ、カレミ、ルブンバシ、コルウェジ、ムアンダとなっている。またトラック事故による火災被害のあったバドリテ（赤道州）は、消防車の動員が終わり次第、就航が予定されている。（12 日付 Le Potentiel 紙）

#### **(4) インガ第 3 ダム計画の包括的实施に係る合意**

16 日、コンゴ（民）政府は中国企業及びスペイン企業と大インガ水力発電所計画（総発電量 11 万メガワット。総工費 140 億ドル）の融資に向けた包括的実施の協力に合意したことを明らかにした。本合意はコンゴ（民）政府、中国系コンソーシアム China Inga3 (China Three Gorges Corporation) 及びスペイン系コンソーシアム ProInga (BTP espagnol ACS グループの子会社である Cobra Instalaciones y servicios) 間で交わされたものである。大統領府は、「本合意により 2 つのコンソーシアムは 1 つの組織体となる。総工費 140 億ドルとされる本計画に関して、右コンソーシアムが本件の準備調査計画をコンゴ（民）政府に提出する」、「同コンソーシアムはこの調査計画への融資を約束した。インガ第 3 水力発電所計画は 6 フェーズある大インガダム水力発電所計画の第 1 フェーズにあたる」と述べた。（17 日付 AFP 等）

#### **(5) アフリカ開発銀行による空港改修整備等に係る支援**

25 日、アフリカ開発銀行 (AfDB) はコンゴ（民）政府に対し、国内 3 空港の改修、航空規制当局の能力強化、コンゴ（民）の「アフリカ航空輸送単一市場 (MUTAA)」への加盟のため、121. 4 百万ドルを支援することを明らかにした。右支援は、アフリカ開発基金及びトランジション・サポート・ファシリティー (TSF) の 2 つの基金により構成される。これら支援により、ンブジマイ空港、キンドゥ空港及びキサングニ空港の改修、近代化及び空港機材の整備を行うとともに、コンゴ（民）民間航空公社 (ACC) 及び航空公社 (RVA) の機能強化を行う。（26 日付 JeuneAfrigue 等）

### **3 財政・マクロ経済・行政など**

#### **(1) 2019 年度予算案の国民議会への提出**

ア 3 日、チバラ首相は国民議会に 2019 年度予算案を提出した。本予算案は 10 兆 3523 億コンゴ・フラン（約 60 億ドル）である。2019 年度予算案は、為替レート 1 ドル 1, 747. 8 コンゴ・フランで計算されており、前年比 0. 01% 減となっている。（4 日付 ACP 紙）

イ 25 日、国民議会は 2019 年度予算案を承認した。同予算案は今後、経済・財務・予算管

理委員会で審査される。チバラ首相は、同予算案にかかる国民議会での答弁に臨んでいた。  
(25日付 ACP 紙等)

## (2) 金融政策委員会 (CPM)

30日、コンゴ(民)中央銀行(BCC)は第9回金融政策委員会(CPM)を開催した。発表されたマクロ経済指標は以下のとおり。(11月1日付 Référence Plus 紙)

2018年経済成長率予想：4.1% (2017年：3.7%)

インフレ率(2018年9月)：0.207% (2018年8月：0.173%)

財政収支(2018年9月)：445億コンゴ・フラン(約27.81百万ドル@1,600コンゴ・フラン/ドル)の赤字

為替率(2018年10月末)

銀行間レート 1,632.23 コンゴ・フラン/ドル

市中間レート 1,647.33 コンゴ・フラン/ドル

外貨準備高(2018年9月)：10億ドル(4.3週間)

政策金利：14%

準備率

外貨 短期 13%

長期 12%

内貨 短期 2%

長期 0%

## 4 投資環境・各国関係・その他

### (1) ガソリン価格の値上げ

9月30日、カピカ国家経済大臣はコンゴ(民)のガソリン価格の値上げを発表した。ガソリンは、1リットル1,980コンゴ・フランから2,110コンゴ・フランに、軽油は1リットル1,970コンゴ・フランから2,100コンゴ・フランに値上がりする。同大臣は、これらの値上げに関し、国際市場での石油価格の上昇及び石油取引における対ドル為替レートが原因であるとした。同レートに関し、コンゴ(民)政府は石油供給業者と1ドル1,550コンゴ・フランでの取引を交渉していたのに対し、実際の取引レートは1ドル1,620コン

ゴ・フランから 1 ドル 1, 640 コンゴ・フランとなっている。今年 4 月, ガソリンは 1 リットル 1, 890 コンゴ・フランから 1, 980 コンゴ・フランに, 軽油は 1 リットル 1, 880 コンゴ・フランから 1, 970 コンゴ・フランに値上がりしていた。(9 月 30 日付 Radio Okapi)

#### **(2) コンゴ (民) からナイロビに密輸された金 4. 6 トンを押収**

1 日, コンゴ (民) 汚職撲滅同盟 (LICOCO) は, コンゴ (民) からナイロビに持ち込まれた金 4. 6 トン (評価額 138 百万ドル) を押収したことを明らかにした。これらは本年の 2 月にケニアに到着し, ケニア産として合法的に国際市場で売却するために持ち込まれたと見られている。2013 年 10 月 29 日には, Kibali Goldmines 社 (当館注: 資本構成比率は, オペレーターの英系 Randgold Resources 社が 45%, 南ア系 AngloGold Ashanti 社が 45%, 国有企業の Sokimo が 10%) の金 180 キロ (評価額は約 8 百万ドル) がケニア警察に押収され, 同年 11 月 12 日にコンゴ (民) 側に返却されていた。(2 日付 Radio Okapi)

#### **(3) シェ・オキトウンドウ副首相兼外務・地域統合大臣の TICAD 閣僚会合の参加**

6 日, 東京で開催された TICAD 閣僚会合のマージンで行われた日・コンゴ (民) 外相会談で, シェ・オキトウンドウ副首相兼外務・地域統合大臣は, コンゴ (民) 政府は日本側に日・コンゴ (民) 協力関係における戦略的パートナーシップの意志を有することを約束した。同副首相は「我々はコンゴ (民) の投資環境の改善に尽力し, 相互投資の保護に係る合意締結をしなければならない」と述べた。同副首相は, 豊かさや雇用を創出する民間セクターの重要性を強調し, 「民間セクターは豊かさを創出するのみならず, アフリカ及びコンゴ (民) で若者が必要とする雇用を創出すると考えている」と述べた。(7 日付 ACP 紙)

#### **(4) シェ・オキトウンドウ副首相兼外務・地域統合大臣の第 4 回野生動植物違法取引対策に関する国際会議への出席**

第 4 回野生動植物違法取引対策に関する国際会議で, シェ・オキトウンドウ副首相兼外務・地域統合大臣は, 野生動植物の違法取引対策のためには, 国連事務総長の参加を伴う世界的な取組が必要であると主張した。さらに同問題には, 取引国間の市場取締り, 厳格な制裁を伴う抑止的な法的枠組みの強化を含んだ多角的なアプローチが求められるとした。(15 日付 ACP 紙)